ディックプルーフィング株式会社

本社・東京営業所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-24-3 新宿スリーケービル5F
TEL. 03-6859-5020　FAX. 03-6859-5024

大 阪 営 業 所／TEL. 06-6231-8501　FAX. 06-6231-8505
名古屋営業所／TEL. 052-744-1011　FAX. 052-735-0011
札 幌 営 業 所／TEL. 011-804-8070　FAX. 011-804-8071

（'13.01月現在）
'13.01. 100 DFC

IW自動加熱装置

Sika IW-01J

取扱説明書

ご使用の前には、本取扱説明書を必ずお読みください。

安全・作業上の注意事項

電　源	• 電源は必ず100Vを使用してください。 • 入力電圧が85V～115Vの範囲内であることを本体モニターで確認してください。 • 所定の電源確保が困難な場合は変圧器を使用するか、2.0KVA以上の発電機を使用してください。 • 延長コードを使用する場合は、3芯で太さ2.0㎟を標準としてください。 • 同じ電源コンセントで他の電動工具を使用しないでください。
装　置	• 本製品を本来の用途以外で絶対に使用しないでください。(IWディスク以外の加熱は決して行わないでください。) • 本製品を絶対に分解・改造しないでください。 • 本製品の中に異物などを入れないでください。 • 本製品を濡らしたりしないでください。 • 本製品に強い衝撃を与えないでください。 • 本製品の上に重量物を載せないでください。
加熱作業	• 降雨中の作業は危険ですのでおやめください。 • 加熱ホルダーは必ずシート面に軽く押し当ててください。 • 加熱時は、決して加熱ホルダーを動かさないでください。 • 加熱完了後は、速やかに加熱ホルダーを外して圧着作業を行ってください。
圧着作業	• 弊社専用の圧着治具以外のものを使用しないでください。 • 必ず両手で8～10秒圧着してください。 • ひざや足で踏みつけての圧着は決して行わないでください。 • 夏期、加熱後にシート表面が「テカリ」が発生する場合は圧着後に霧吹きなどで水を噴霧してください。

目　次

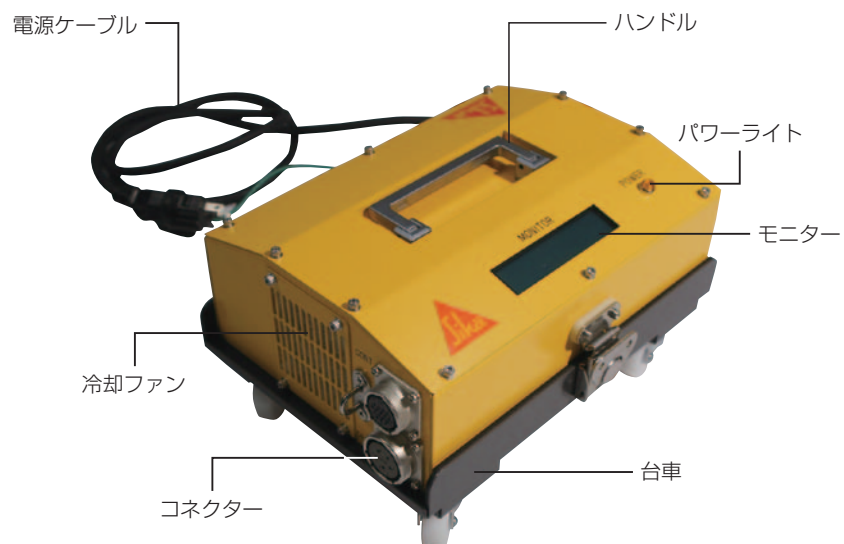
収納物・各部位の名称 ･････････････ 2, 3
操作手順 ･･････････････････････ 4～7
装置仕様 ････････････････････････ 8
動作・エラー表示 ･････････････････ 9

■収納物

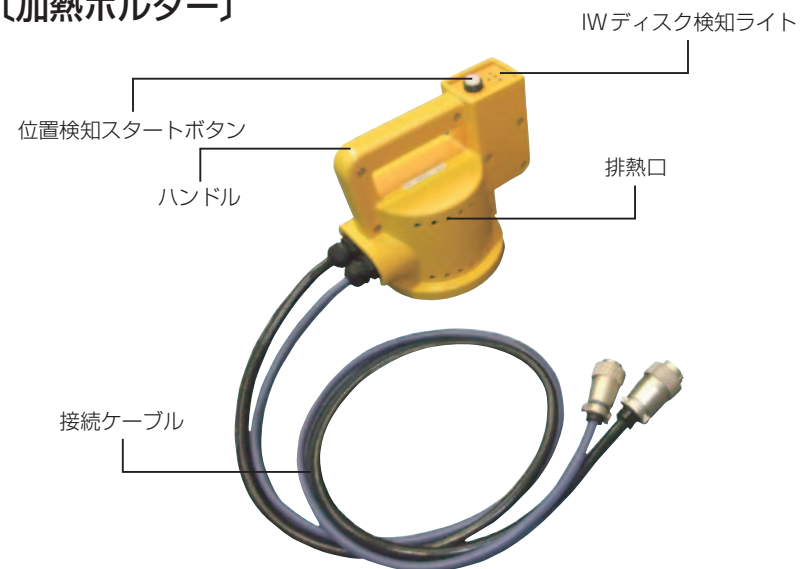
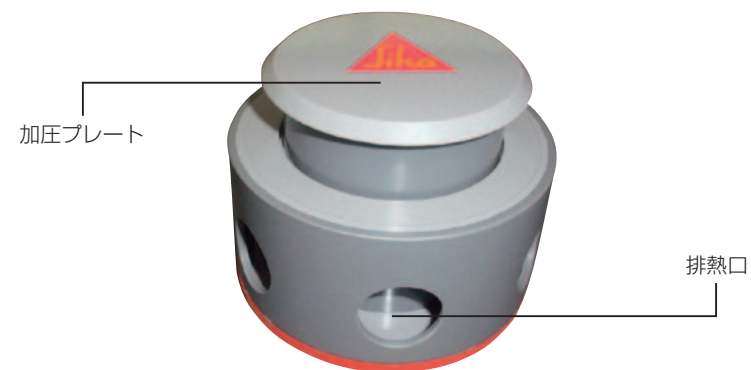
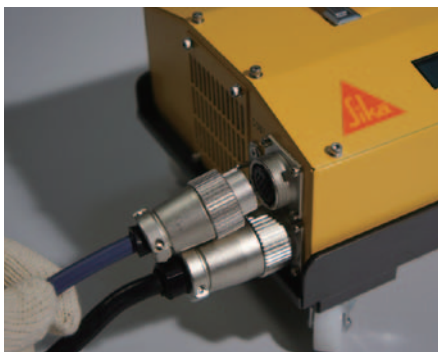
・IW 自動加熱装置本体
・加熱ホルダー
・台車
・圧着治具
・取扱説明書

各 1 個ずつ

■各部位の名称

〔IW 自動加熱装置　本体〕

収納物・各部位の名称

■各部位の名称

〔加熱ホルダー〕

〔圧着治具〕

1 装置本体と加熱ホルダーのケーブルを接続します。（上下２箇所）

2 本体の電源を入れます。

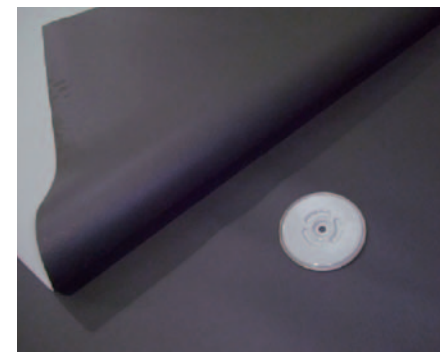
- 電源ON/OFFのスイッチはありません。コンセントに繋ぐだけです。
- 本体の「POWER」ランプが点灯しているか確認してください。

※延長コードを使用する場合は、太さ2.0㎟を標準としてください。

入力電圧異常の場合、本体の「POWER」ランプが点滅します。その場合以下の事項を確認してください。

- 入力電圧が115V以上または85V以下になっている。
  ➡ 別の電源を使用するか昇圧器や発電機をご使用ください。
- 延長コードを複数本使用。
  ➡ 別の電源を使用するか延長コードの本数を減らしてください。
- 同じ電源コンセントで他の電動工具を使用している。
  ➡ 同じ電源コンセントの使用は避けてください。

3 IWディスクを下地に固定します。

- 固定の際はシートのラップ部にIWディスクが当たらないようにしてください。
- シートのラップ部では本装置は作動いたしません。

4 位置検知スタートボタンを押します。

- 加熱作業前にディスク板から離した位置で、位置検知スタートボタンを押します。
- 約1秒間押すと右写真のように4つのLEDライトが点灯します。

5 IWディスクの位置検知作業を行います。

- 加熱ホルダーをシート面に軽く押し当て、LEDライトの誘導に従って位置検知作業を行ってください。
- LEDライトの点灯方向に加熱ホルダーを動かします。

6 加熱作業を行います。

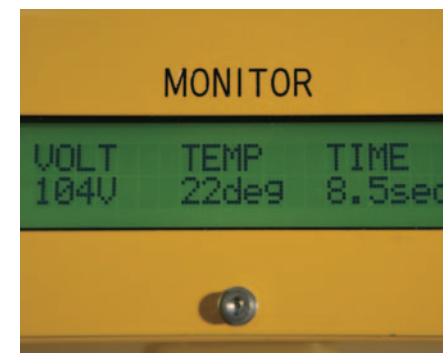
- IWディスクのセンターを検知後、全てのLEDライトが点灯し、自動で加熱を開始します。
- 同時に自動でシート表面温度を測定し加熱秒数を決定します。

7 加熱終了。

LEDライトのセンターのみが点灯します。

加熱作業の注意事項

- 加熱ホルダーは必ずシート面に軽く押し当ててください。
- 加熱時は、決して加熱ホルダーを動かさないでください。
- 加熱完了後は、速やかに加熱ホルダーを外して圧着作業を行ってください。

8 加熱作業を行った際のシート表面温度と加熱秒数がモニターに表示されます。

9 専用の圧着治具で8〜10秒間圧着します。

加熱作業後の圧着は非常に重要です。圧着治具の加圧プレートが治具本体に密着するまで両手でしっかり押さえつけてください。

10 圧着作業後の目視確認

正常に接合されている場合、右写真のようにIWディスク外周の輪郭がシート上に均等に現れます。

装置仕様

本　体	寸法（mm）	263×189×90
	重量（kg）	3.0
	電源ケーブル長（m）	2.0
本体モニター	VOLT	電源電圧
	TEMP	シート表面温度（加熱開始前）
	TIME	加熱時間
ホルダー	重量（kg）	1.3
	ケーブル長（m）	1.2
	LED	ディスク位置検知表示
台　車	重量（kg）	1.4（着脱可能）
スペック	出　力（W）	850
	動作電圧（V）	85～115（50/60Hz）
	加熱時間	測定温度により自動設定

※供給電圧が115V以上または85V以下の場合、装置は作動いたしません。
※発電機を使用する場合は、2.0KVA以上のものを使用してください。

動作・エラー表示

■動作表示

	動作状態	ブザー	パワーライト（本体）	IWディスク検知ライト		備考
				センター	周囲	
正常動作表示	位置検知中	―	点灯	消灯	いずれか点灯	位置ずれ方向に点灯。
	加熱中	連続音	点灯	点灯	点灯	
	加熱終了	―	点灯	点灯	消灯	
エラー表示	入力電圧異常（加熱待機時）	断続音 0.5秒毎	点滅 0.5秒毎	消灯	消灯	85V以下、115V以上で発生。電源の変更、変圧器、発電機の使用が必要。
	電流異常	断続音 0.1秒毎 1秒間	点灯	点灯	消灯	電源の変更、発電機の使用が必要。
	加熱中電圧低下	断続音 0.5秒毎 4秒間	点滅 0.5秒毎 4秒間	消灯	消灯	85V以下で発生。コードを短くするか太い（2.0㎟以上）延長コードに変更。
	オーバーヒート	断続音 0.2秒毎 6秒間	点滅 0.2秒毎	点滅 0.2秒毎	点滅 0.2秒毎	90℃以上で発生。70℃以下で復帰。復帰するまで静置してください。